

【お餅と白ネギで簡単アレンジメニュー】 ねぎもち



元気応援宣言！！

18

町食生活改善推進協議会だより

《材料（4人分）》

- ▶白ネギ（2本）
- ▶餅（5個：300g程度）
- ▶かつお節（適宜）
- ▶しょうゆ（小さじ2）
- ▶サラダ油（大さじ1）

《作り方》

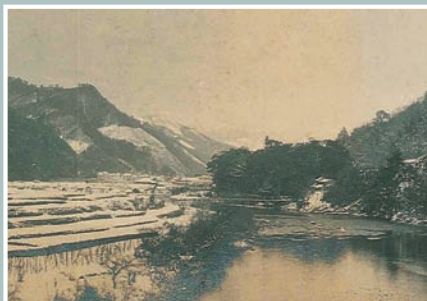
- ①餅は薄く切る。ネギは斜めに薄切りにする。
 - ②フライパンに油を熱し、ネギと餅を並べてふたをして、弱火で両面焼く。
 - ③餅がやわらかくなり、全体に焼き目がついたら、かつお節、しょうゆを入れて火を止める。
- ※ちりめんじゃこやチーズなどを入れてもおいしくできあがります。



【1人分】 エネルギー（216kcal） / タンパク質（3.9g） / 脂質（3.7g） / カルシウム（16mg）、食塩（0.4g）

■連絡先

日野町役場 企画政策課（電話 72・0332）



漆原から根雨神社周辺を望む（大正10年頃）

- ①日野町および旧町村に関する写真（明治から昭和の建物や地域の風景、祭り、行事など）
 - ②日野町および旧町村に関する資料（行政の刊行物、書籍、映像記録など）
 - ③その他の歴史的資料
- ※これらの資料をお持ちの方は、左記連絡先までお知らせください。記録を取ったうえで、資料価値の高いものについては、町史編さんに使用する予定です。

町では、今後刊行予定の「日野町史（仮）」の編さんにあたり、まちのあゆみ・歴史を物語る写真や資料などを収集しています。次のような資料をお持ちの方はご連絡ください。

昔の写真・資料収集にご協力をお願いします。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第6回

「よばれる」

「まあ、こげにがいによばれてしまあて、すんませなんだ。」と食べることを「よばれる」と表現するのは、ここ日野だけでなく、全国各地にあるようです。語源は、「呼ばれる」、すなわち「招待され、ご馳走になる」こと。すなわち、「よばれる」は、相手への感謝の気持ちも同時に表しているのです。

なにげない言葉の中にも、細やかな心遣いが垣間見える。方にはそんな魅力があります。

日野弁ピックアップ「食べ物、味」

かんらん… キャベツ。こーこ… 大根漬け。しょーけめし… 炊き込みご飯。すい… 酸っぱい。とうきび… とうもろこし。まげな… おいしそう。まむない… まずい。おいしくない。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会

作家と作品への思い出を一冊に

▼故人をしのぶ『追悼木彫作品集』が完成

かつて日野町内で創作活動をされ、昨年62歳の若さで亡くなった木彫作家、新井三重子さんの追悼作品写真集『もしも風になれるのならば』（企画編集…新井三重子さん追悼作品集を出版する会【金田美紀代表】）が出版されました。



ひと彫りひと彫り心を込める新井さんの創作風景



愛犬と笑顔を見せる新井さん



作品名「つぼみ雛」



思い出のつまった作品集

新井さんは、1987（昭和62）年から6年間、日野町に在住し工房を開設。金田さんは木彫を習うなど親交を深めました。

昨年2月に新井さんが亡くなり、追悼の催しができないかと考えていた金田さん。親交の深いおもちや作家の若林孝典さん（美作市）から「作品のファンも多いので、作品集として残したらどうか」との助言もあり、昨年5月から木のおもちやづくりの仲間と編集に取りかかりました。

作品集は、新井さんと親交のある人らが、一番愛する作品の写真と、新井さんとの思い出をつづつたもの。北は宮城県から南は大分県まで多くの人が思いを寄せています。

金田さんは「新井さんの人柄を思い出すことができる作品集に仕上がりました。タイトルに悩みましたが、これは三重子さんの詩の一節で、自然に決まりました。ぜひ手に取って見ていただきたいですね」と話します。

作品集は一冊2000円（税込）で、問い合わせは、町図書館（電話72-1300）まで。

あらいみえこ追悼展／**小黑三郎**（組み木デザイナー）・**若林孝典**（おもちゃ作家）作品展

木のお雛さま

会期：2月21日（金）～23日（日）

会場：日野町公舎（根雨）

各作家の『お雛さま』をはじめ、木の温かみを感じるおもちゃを多数展示します。また、プロの作家による体験教室も開催。参加申込みなど詳しくは、お問い合わせください。

【開館時間】 21日（金）午後2時～午後7時
22日（土）午前10時～午後5時（おもちゃづくり体験教室あり）
23日（日）午前10時～午後4時（組み木絵パズルづくり体験教室あり）

主催：「木のお雛さま」展実行委員会 問合せ：日野町図書館（電話72-1300）

